

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171200233		
法人名	有限会社 ベターライフ建築事務所		
事業所名	グループホーム いっぽ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字蓑原3067-2		
自己評価作成日	平成23年9月17日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年10月11日	外部評価確定日	平成23年11月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>住み慣れた地域の中で認知症高齢者が安全で快適に穏やかに過ごして頂ける様に日常生活の全般に於いてこれまでの生活を尊重し残存機能の維持と向上を目指し支援しています。又ご家族様との関わりを大切にこの思いで毎月1回のいっぽ新聞を発行し入居者様のホームでの様子をお知らせしています。「毎月楽しみにしています。」と言って頂いています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は豊かな自然に囲まれた田園地帯の住宅地に位置している。居間には床暖房を設置したり、廊下には採光に配慮した天窗を設置する等、環境作りへの工夫が見られる。職員は、常に理念を心し、利用者一人ひとりが、その人らしく尊厳のある暮らしとなるように支援に取り組んでいる。管理者を始め職員は、家族や外部からの意見や評価を宝と捉え、サービス向上に活かしている。3名の看護師を配置しており、利用者の健康管理や医療面での支援も密に行われている。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員事務室に運営方針を掲げ、毎朝唱和して運営方針の共有を図る様になっています。	地域密着型サービスの役割をふまえた理念を作成し、事務室に明示している。日々の朝礼時には勤務者で唱和をし、また、会議の折には、内容を掘り下げて話し合い共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の掃除に参加、又散歩時地区の方が声かけをして下さっています。又新鮮な採れたての野菜を届けて頂いています。(筍やきゅうり等)	自治会に加入し、地域の清掃等にも参加している。近隣の方とは散歩の時に挨拶を交わしたり、野菜を頂いたりしている。また、学校帰りの学童が立ち寄り、民生委員の研修の場にもなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に民生委員様や区長様が参加され会議での話題を地域の方々へ話して頂く様をお願いしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を行いご家族様・地域包括支援センターの職員様、民生委員様・区長様にメンバーとして参加して頂き入居者様の状況や行事ホーム内の取り組みを報告しています。	運営推進会議は、家族や地域の代表、地域包括支援センター職員等の参加を得て、2ヶ月に1回、開催されている。会議では、運営や入居者の状況、事業等の報告がなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護あんしん相談員様が定期的に訪問され、入居者様の意見を聞いて頂き事業所との意見交換にて協議を行い解決しケアサービスの向上を目指し取り組んでおります。	地域包括支援センター主催のケア会議に参加し、情報交換を行っている。また、3ヶ月に1回は、介護相談員の訪問を受け意見交換等を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルを作成したり、研修に参加し又職員間共有認識を図り出来るだけ拘束をしない様にしていますが、徘徊や離苑行動が頻繁に行われやむをえない状態です。	職員は身体拘束の内容や弊害を理解し拘束のない支援に取り組んでいる。しかし、現在徘徊や外出傾向の強い利用者の安全確保のために、玄関は昼間も施錠されている。	利用者の外出したくなる理由を知るなど安全な見守りの工夫を検討し、昼間は玄関を施錠しない支援に取り組まれることを期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修会や職員全体が防止する様に心掛けています。	2011/11/4	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の方が成年後見制度を利用しておられますので職員も理解できています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時説明を行い納得された上で締結しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています。又面会時にホームにての生活状況をお話し意見や要望を尋ね職員会議等で取り組んでいます。	管理者は苦情は宝という意識で家族に声をかけ、何でも言ってもらえるように配慮している。意見や要望等が出された時には、職員で検討し対処している。玄関には意見箱を設置し、重要事項説明書には公的な苦情受付窓口も明示している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議に代表者・管理者も参加しホーム内の取り組み等全体で話し合っています。	代表者や管理者は、職員会議や日常の業務の中で職員からの意見や提案等を聞く体制ができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は代表者へ報告を行い、向上心を持って働ける様努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修会に出来るだけ、管理者・職員が参加し勉強会時報告する様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のケア会議に参加して交流していますが相互訪問は今後取り組みたいと思っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時、本人様の話を十分聞き毎日の生活の会話の中から不安を無くし、要望を取り入れる様にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時や面会時に困り事や不安な事、要望を尋ねて信頼関係作りに努力しています。又何かあれば電話にて対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様・ご家族様と十分な話し合いを行い取り組んでいます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中でレク活動を通じ共に喜怒哀楽を共有出来る様取り組んでいます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活の中で本人様・ご家族様の絆を大切に面会時等に会話の時間を多くもって頂く様にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人の方が訪問された際、会話の場の提供を行っています。かかりつけ医の方とも今迄のつながりを大切に関わって頂く様に支援しています。美容院やお墓参りはご家族付添いの下お願いしています。	職員は利用者の馴染みの人や場所等を把握し、関係の継続を支援している。家族や知り合いの訪問時には一緒に歓迎し、宿泊も可能としている。家族の協力を得ながら、行きつけの美容院での整髪やお墓参り等も支援している。外出時には自宅送りまで廻って自宅を見てもらう事もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	助けたり助けられたりの精神で皆様の交流に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方に対してもどうなっていますか？と電話等にて取り組んでいます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で会話にて希望や意向を把握し、取り入れています。意思疎通が困難な方は表情や言動・ご家族からの情報にて把握しています。	日常の会話の中から、希望や意向等を把握している。意思の疎通が困難な場合には、家族からの情報や表情等から本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される際本人様・ご家族様からの聞き取りにて生活歴を尊重しながら、馴染んで頂く様に対応します。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中での心身の残存能力を把握し生かして頂く様な支援を行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月に1回モニタリングを行い見直しと共に状態変化時本人様・ご家族様・主治医の意見を取り入れながら、意見を反映し職員間で十分な話し合いを行い計画を立てています。	本人及び家族の希望や意向を確認すると共に、関係者で情報交換を行い、本人本位の介護計画を作成している。3ヶ月毎に評価を行い現状に応じた介護計画で支援している。また、状態の変化時にも速やかに見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を記入し、モニタリング時又状態の変化時見直しを行い計画に取り入れています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様の状態に応じてニーズも変化する為その都度サービスを変更し取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事時地域の子供さんや地域の方と合唱や会話をし、ふれあって頂き心豊かな生活をして頂く様支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームのかかりつけ医は決まっていますが、本人様の病状やご家族の要望にて今までのかかりつけ医師との関係を築いて頂いています。	利用者の多くが以前からのかかりつけ医の診療が継続されており、主治医の変更は家族の希望でなされている。通院は基本的に家族の付き添いとしているが、状況によっては職員も介助し、適切な診療が受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の状態を観察し異常に築いた際的確に看護師・医師へ報告しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	勉強会(病院開催)に出来るだけ参加し関係作りを行うと共に入院された際、情報を共有しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化された際出来るだけ早くカンファレンスを行いご家族との今後の取り組みを話し合い看取りまでのご要望時本人様の意思を尊重し、医師の意見を取り入れ、同意書を交わし支援しています。	早い段階に、重度化や終末期に係る指針を説明し、家族等の意思の確認を行い、事業所が対応できる最大限の支援に取り組んでいる。これまでは看取りのケアもなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員会議の際、各利用者の異常時のサイン等を把握し対応しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て災害時に備え避難場所や施設を決め、定期的に誘導訓練を行っています。又区役に参加し地域の方に協力体制をお願いしています。	消防署の協力を得て、火災を想定した避難訓練を定期的に行っている。近隣住民へは口頭で災害時の避難協力を依頼しているが、訓練への参加・協力は得られていない。	今後は、実際に地域住民の方が避難訓練に参加される体制が築けることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議にて接遇の勉強を行い尊厳の言葉かけに気をつけています。特に排泄時の誘導時プライバシーに気をつけながら、さりげなく誘導するように心掛けています。	職員は利用者一人ひとりの個性を尊重し、プライドやプライバシーに配慮した声かけや対応で支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を表出されない方には問いかけを行いながら自己決定をして頂く様支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	どの様に過ごされたいかを尋ね危険な事は説得しペースを尊厳し支援します。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみやお洒落の手伝いを行い生き生きとした生活を送って頂く様支援します。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の方と一緒に食事時料理の味はどう？等会話したり、又入居者様の能力に応じ食器拭き・片付け・配膳等手伝って頂いています。	食事の時は、職員も一緒に同じものを食べ、楽しい雰囲気作りにも配慮している。献立には利用者の希望を取り入れたり、利用者の咀嚼力に合わせて形態にも配慮している。また、利用者の体調や能力に応じて後片付け等を一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量の確保の為にチェック表に記入し状態に応じた支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	残渣物にも気をつける様自力にて不可能な方には口腔ケアを行い義歯の保管の支援を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ使用の方が増えていますが、排泄が可能な方にはパターンを把握しトイレへの誘導を行いオムツ外しの支援を行っています。	利用者の排泄パターンや習慣を把握し、トイレでの排泄支援にも取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のチェックを行い便秘気味の方には食物や服薬にて調整を行い便秘解消に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日に時間を決め取り組んでいますが出来るだけ個々の希望に合わせる様に支援したいと思います。又お楽しみの入浴ですので季節感を味わって頂く様に菖蒲湯等に入浴して頂いています。	週3日(月・水・金)を入浴や清拭の日として支援している。風呂場にはリフトが設置されており、機能低下のある利用者の安全な入浴支援に活用されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者の生活リズムを尊重し前夜の睡眠状況にて昼寝をして頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員にて服薬の管理を行い看護職を中心に症状の変化に気を付け症状により医師への連絡を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を尊重し、その方に合った楽しみ事をレクに取り入れ日々を楽しく過ごして頂く様に支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	離苑行動が頻繁な方がおられますので出来るだけ外出に誘い落ち着いて頂く様に支援をしています。(買い物・お花見等)	入居者の希望にそって日常の買物や散歩を行っている。また、季節毎の花見等の外出がなされている。	



自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は管理が必要な方ばかりですので用途と残高確認をご家族にしています。(出納帳)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族へ電話をと依頼される方がおられますので支援しています。又月に1回いっぽ便りを送付し近況報告を行っておりご家族の方が楽しみに待っておられたり又正月にはご家族様より年賀状が届き喜んでおられます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用室に於いて日光浴、匂い等に気をつけ又ご近所の方から頂いた花を季節感を味わって頂く様に飾り壁面には夏は朝がお・秋はブドウ等を飾り付けを行い季節感を味わって頂いています。	玄関や居間兼食堂は日当たりの良い南側に面しており、家具や調度も見慣れた物が設置され家庭的な雰囲気である。居間には、カウンター越しの台所から、調理の音や匂いが届き利用者の五感を刺激している。廊下には、天窓が設置され丁度良い明るさが確保されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは皆様はゆっくりソファーに座りTV視聴したり会話を楽しまれています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ入居時本人様ご家族様との話し合いにて使用して来られた家具を持参して頂く様、又思い出の写真・ご家族の写真置いて頂く様にしています。	職員は家族に対し、本人の使い慣れた馴染みの品の持込をすすめている。居室には、仏壇や筆筒、椅子、鏡、時計、写真等思いおもいの品が見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や浴室には表札を貼り目で見てわかって頂く様にしています。廊下に手摺り玄関にはスロープを設置し車イス使用者は外出して頂く様にしています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)		1. 毎日ある
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
		2011/11/4	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない